

第21回新生匠瑳戦略会議 会議録（概要版）

開催日時：平成24年11月16日（金）

午後7時00分～8時00分

開催場所：匠瑳市役所議会棟第2委員会室

出席委員：（学識経験者）渡辺新

（団体推薦者）宇野充紘、萱森孝雄、鈴木和彦、橋場永尚

（一般公募者）大塚榮一、岡田陽子、永野亮太、林暁男、八木幸市

（10人／名簿順）

欠席委員：（学識経験者）鎌田元弘、木村乃

（団体推薦者）安藤建子、越川竹晴、越川八代枝

（5人／名簿順）

市出席者：（事務局/企画課）小川課長、大木副主幹、富井副主査（3人）

【 議 事 】

（1）提案書（最終報告）について

- ・本日は、最終報告の内容についての最後の検討の場である。20日には最終報告を市長へ提出する予定なので、協力をお願いしたい。
- ・最終報告の体裁については、本編として第Ⅰ部「地域づくりの仕組みと考え方」、第Ⅱ部「匠瑳市再生プラン」があり、附編として「国保匠瑳市民病院の再建に関する意見書」、最後に資料編という構成である。特に問題なければ、この体裁でいきたいと思う。
- ・最終報告のタイトルについては、これまで議論してきた最終報告のタイトルが報告書の一番前に出てきて、第Ⅱ部は「匠瑳市再生プラン」となっている。特に問題なければ、このままでいきたいと思う。
- ・「若潮牛」の項目については、「そうさ若潮牛振興協議会」の担当者に内容の確認を依頼している。確認がとれるようであれば、他の項目と同じような表記で掲載したいと思う。
- ・「ひかりねぎ」の記述で、戸数、作付面積、販売額が違っていると思うので、JAに問い合わせて修正をお願いする。
- ・「ひかりねぎ」や「若潮牛」を使った鍋を地元の名物として作ってみてはどうか。地

元で消費の需要があれば、地元で流通するのではないかと。

- ・本文中に「清水の湧きでる豊かな自然に囲まれ」とあるが、市内の田んぼではこういう環境がないような気がする。いずれにしても、清水の湧き出る状態ではないということなので、該当部分は削除することとする。
- ・山百合プランのところで、山百合が「簇生（そうせい）しだす」とある。この言葉の意味は「群がって生える」ということであるが、山百合の場合は少しニュアンスが違うような気がするので、「生育しだす」とか「開花する」などの表現に改めてはどうか。
- ・図3「里づくり協議会」のところで、当初、匝瑳市に里山条例があるものと思っていたが、再度見直してみたら千葉県で里山条例のことだと気づいた。市の里山条例があるものと思い込んでいたので、「里づくり計画」や「ゾーニング・利活用」の部分に「市長・行政」が関わるように矢印をつけていたが、県の条例となるとそこまでは必要ないと思ったので、該当部分は削除した。
- ・「海岸地域の振興」については、「付記」でこれまでの経過を触れることとした。
- ・本日出された意見を基に修正し、最終報告の完成とする。その他、細かい字句の修正などは、委員長及び事務局に一任していただきたい。

(2) その他

完成された最終報告については、11月20日（火）の午後2時から市長への提出を予定しているので、委員長、副委員長の出席をお願いする。